

課題論文 A 試験問題

次の問題 1、問題 2、問題 3 をそれぞれの指示にしたがって解答すること。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること

予定履修コース	受験番号
I II III	

※ 予定履修コースは、受験票に記載したものと同一のものに○をつけること。

課題論文 A 試験問題

※ 次の問題 1、問題 2、問題 3 をそれぞれの指示にしたがって解答すること。

問題 1

本研究科に入学後、どのような研究を予定しているか。研究計画概要を所定の解答用紙に 400 字以内で記入しなさい。

問題 2

あなたの予定する履修コース（受験票に記載したもの）に関する問題から 1 問を選択し、所定の解答用紙に日本語で解答しなさい。

[履修コース I]

1. 外来語がもたらす功罪を、具体例を挙げて説明しなさい。
2. ボードリヤールなどにおいて見られるように、現代社会は消費社会という概念で捉えることが可能である。そのような消費社会としての特徴を、言語文化的な観点から論じなさい。
3. 「地図」というものがもつイデオロギー性について、具体例を挙げて説明しなさい。

[履修コース II]

4. 相互行為の社会言語学 (Interactional Sociolinguistics) と会話分析 (Conversation Analysis) の方法論を対比しながら、両アプローチの共通点と相違点を論じなさい。
5. 「レトリック的でない言語表現などというものは存在しない」という説に対して、自分の考えを述べなさい。
6. 日本の言語教育における国際英語の位置づけについて、自分の考えを述べなさい。

[履修コース III]

7. 次の各文はいずれも同じモノを主語とし、同じ動詞を用いた文であるが、その意味も構造も異なっている。どのように違うのか、各構文の特徴を明らかにして論じなさい。
- The vase was broken by John.
 - The vase broke.
 - The vase breaks easily.
8. Frege の原理 (compositionality の原理) について、例を用いて具体的に説明しなさい。
9. 100 万文規模の日本語・英語の対訳データ (品詞タグ、構文構造付き) が利用可能であるとする。これを用いてどのような研究が可能か、論じなさい。

問題 3

履修コースに関係なく以下の問題から 1 問を選択し、所定の解答用紙に日本語で解答しなさい。

- 「状況のアイロニー」(situational irony)と「言葉のアイロニー」(verbal irony)について、それぞれの例を挙げ、両者に共通する「アイロニー」とはどのような現象かを説明しなさい。
- 「亡命文学」や「移民文学」等、いわゆる移住者による文化活動が 20 世紀以降注目されている。その背景や理由を、具体例を挙げながら論じなさい。
- 日記にはまったく私的で公表を想定しないものと、実は将来の公表を想定した半公的なものがあるといわれている。両者の違いを、コミュニケーション論の立場から論じなさい。
- Sentence Meaning と Speaker's Meaning の違いを、例を用いて具体的に説明しなさい。
- 日本において、漢字廃止論は明治時代から話題になっているが、漢字廃止論のメリットとデメリットについて論じなさい。
- メディアの分類法の一つとして、第一次メディア (送り手と受け手のどちらも特定の機械装置を必要としない: 音声言語等)、第二次メディア (送り手のみが特定の機械装置を必要とする: 出版物等)、第三次メディア (送り手と受け手のどちらも特定の機械装置を必要とする: テレビ、電話等) という区分がある。一般に、技術や経済の発展にともなって高次メディアの比重は高くなることが予想されるが、逆に、それと並行して、低次メディアの再評価が行われることも考えられる。身近な具体例を一つ挙げて、そのような現象が生じる理由について述べなさい。

課題論文B 試験問題

次の言語のうちから、解答する外国語を1つ選んで○をつけ、それぞれの設問に答えなさい。なお、留学生は日本語を選択すること。

英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 朝鮮語

日本語 (留学生のみ)

予定履修コース	受験番号
I II III	

※ 予定履修コースは、受験票に記載したものと同一のものに○をつけること。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること

課題論文 B 試験問題

【 英 語 】

問題 1

次の文を読んで、下線部を日本語に訳しなさい。

省略

問題 2

次の文の内容を日本語で 200 字以内にまとめなさい。

省略

課題論文 B 試験問題

【ドイツ語】

問題 1

次の文を日本語に訳しなさい。

省略

問題 2

次の文の内容を日本語で 200 字以内にまとめなさい。

省略

課題論文 B 試験問題

【フランス語】

問題 1

次の文を日本語に訳しなさい。

省略

問題 2

次の文の内容を日本語で 200 字以内にまとめなさい。

省略

課題論文 B 試験問題

【ロシア語】

問題 1

次の文を日本語に訳しなさい。

省略

問題 2

次の文の内容を日本語で 200 字以内にまとめなさい。

省略

課題論文 B 試験問題

【 中 国 語 】

問題 1

次の文を日本語に訳しなさい。

省略

問題 2

次の文の内容を日本語で 200 字以内にまとめなさい。

省略

課題論文 B 試験問題

【 朝 鮮 語 】

問題 1

次の文を日本語に訳しなさい。

省略

問題 2

次の文の内容を日本語で 200 字以内にまとめなさい。

省略

課題論文 B 試験問題

【日本語】

※ この問題は外国人留学生のためのものです。日本人受験者が解答しても無効になりますから気をつけて下さい。

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

知識というものを、おぼえるべきもの、やらねばならぬ苦役、他人から教示されることに従うことだとする考え方は、学年が進むにつれて深刻に「定着」していくようである。したがって、いよいよ社会に出て、文化の創造と発展に実質的な貢献をなすことのできる年齢に達したときは、人間文化の創造へ参加する意欲も気力も失ってしまっている。

日本人は勤勉で勉強家だという。塾やおけいこの盛んなことは、単に受験体制ばかりとはいえない。単なる推測にすぎないが、時間があつたら何か“勉強”したいと考える主婦やサラリーマンはけっこう数多いことと思われる。しかし、その場合の“勉強”とは、「だれかに教えてもらうこと」であつて、自分たちで考えたり探求したりすることではないことが多い。日本人は一生涯を「研修期間」で過ごす。みがきあげ、習練しつづけ、死ぬまで「修行中」なのである。つまり、文化の創造への参加は、いつまでも後まわしにしつづけて生きているのである。「できる」を「わかる」から分離して修業し、教えてもらって生きつづける。

新しい技術革新や社会変動に対する適応力がわが国で高いのは、人がつねに「修業中」であるから、いつでも新しい「勉強」をはじめてくれて、(1)永久に初心者(ノビス)にとどまっているからではないか。

技術は普及する。世の中に取り残されることはない。学力低下が叫ばれている今日でも、わが国の「できる」学力は国際的に上位を保っている。しかし、(2)「わかる」学力はどうか。文化の創造はどうか。考えていただきたい。

(出典：佐伯胖(2004)『「わかり方」の探求—思索と行動の原点—』小学館)

問1 下線部(1)の「永久に初心者(ノビス)」とはどういう意味か。本文を参考にして分かりやすく説明しなさい。

問2 下線部(2)の「わかる学力」とは何か。また、なぜそれが問題なのか。筆者の考えを分かりやすく説明しなさい。

